

Hongwanji Buddhist Mission of Australia

シドニー本願寺報

732 Pacific Highway Gordon
PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403-1256
Mob : (0412) 396 - 014
Email : hbma@optusnet.com.au
http://www.hongwanji.com.au



渡部開教使、京都本願寺で
光岡理學総務、石田真住部長、
尾井貴堂統合企画室長を表敬訪問
2020年1月20日(月)



京都本願寺の宗務総合庁舎内会議室にて、光岡理學総務(左)、石田真住寺院活動支援部部長(右)を表敬訪問。(20/01/20)



親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要の高札。

2020年が明け、1月中旬から石川に帰省後、家族と共に1月19日に上洛致しました。翌20日の朝、家族で本山参拝をしたのち、一人で国際センターを訪問し石田真住寺院活動支援部部長始め職員の方



京都西本願寺 阿弥陀堂



尾井貴堂室長と(20/01/20)

皆様に新年の挨拶を行い、引き続き石田部長と共に本願寺宗務総合庁舎会議室にて本願寺派総務の光岡理學氏に面会し、引き続き、尾井貴堂統合企画室長と執務室にて面会し、オーストラリア開教地、そして開教事務所を取り巻く現状について、並びに今後の展望についての報告を行わせて頂きました。そこで、オーストラリアでの開教について深く理解を深めて頂くと

(2ページへつづく)

来る3月22日に勤められます秋季彼岸会にお誘い合わせの上、是非お参り下さいませ！

(お昼はお持ちよりのポットラックです。宜しくお願い致します。)

合掌

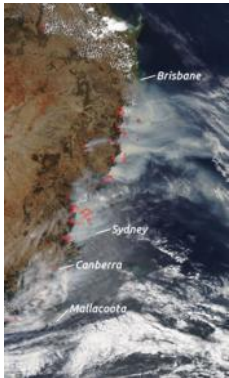
もくじ

本山表敬訪問	1-2
お寺の予定表	1
法話 涅槃会	2
日本での法縁	3
今月のことば	3
大震災復興支援 九周年イベント	3
クリーンアップ オーストラリア	4
ご 懇 念 録	4

★ お寺の予定表 - Calendar ★

- Mar 1 (Sun) 9:30am ~ クリーンアップ・オーストラリア・ディ / Clean up Australia Day @Lane Cove National Park
- 6 (Mon) 4:45-9:00pm 東日本大震災復興支援イベント - TSU-NA-GU 2020 9th Commemoration of the East Japan Earthquake and Fukushima Disaster of 2011 @ Sydney Mechanics' School of Arts (280 Pitt St Sydney)
- 8 (Sun) 11:00 am 三月祥月 & 東日本大震災物故者追悼法要 / March Shotsuki & Memorial Service for the Japan-quake deceased
- 15 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝 / Sunday Service
- 22 (Sun) 11:00 am 秋季彼岸会/Autumn O-Higan Service
- 23 (Mon) [本願寺報発行 / New Bulletin Issue]
- 29 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝 / Sunday Service
- Apr 12 (Sun) 11:00 am 花まつり法要 / Hana-matsuri Service English Guest Speaker: Rev Mark Healsmith





NASAのサテライトが撮影したオーストラリア東海岸のブッシュファイヤーの様子(08/12/19)

『…仏の本質は、肉体ではない。さとりである。肉体はここに滅びても、さとりは永遠に法と道とに生きている。だから、私の肉体を見る者が私を見るのではなく、私の教えを知る者こそ私を見る。』

(お釈迦様の言葉より)



釈尊入涅槃の彫刻
(ガンダーラ出土 2-3世紀)



共に、当時、オーストラリアの山火事が大きなニュースになっていたこともあり、今回の山火事で被災された皆様に心配する暖かいお言葉を頂いたことでした。その後、オーストラリアでは沢山の雨が降り山火事は無事に収束しましたが、日本の面積の実に半分以上にあたる

18万6千平方kmを焼き尽くし、確認されただけで34人の住民や、消防士達の貴い命が失われました。被災された皆様に心より哀悼の意を表する次第です。

今回の上洛でお世話になった光岡総務、尾井室長、そして石田部長を始めとする国際センターの皆様に深くお礼申し上げます。合掌

オーストラリア開教事務所長 渡部重信

今月の法話 涅槃会 (ねはんえ)

涅槃会は、お釈迦様の入涅槃、つまり仏教の開祖・釈迦牟尼仏がお亡くなりになられた事を追悼しその遺徳に感謝を捧げる法要のことを指しています。

お釈迦様は、人間が一人一人が持つ煩惱、業(ごう)、そして苦しみなどから解放される道、人が人として生きることの根源的意味を明らかに示して下さいました。お釈迦様がこの世にお生まれになって覚った教えを弘めて下さったお陰で、私たちは仏の教え、仏教を学び仏道を歩むことができるのです。

ここで言う「涅槃」とは単なる「死」を意味しているわけではありません。涅槃とはサンスクリット語の「ニルバーナ」を音訳したもので、もともと「火の消えた状態」という意味を持っています。火は人間の欲望・煩惱を表していますので、その煩惱の炎を全て消し去って完全な悟りを開いた状態のことを言うのです。シッダルダが王位を捨てて出家し、修行の末に35歳で覚者、目覚めた人と成った時をもって涅槃に達したという見方がありますが、人間として生きる以上、何らかの欲望は捨て切れていないはずであろうこ



家族と共に本山参拝
(20/01/20)



釈尊入涅槃図

とから、人間としてのいのちの灯が消え肉体が滅び、完全に煩惱の灯が消えた時、すなわち亡くなられた瞬間が「入涅槃」とであるとされています。そして、完全に欲望が無くなった状態ということで「大般涅槃」と呼び、永遠のやすらぎを得た状態のことを表わしています。

お釈迦様は入滅の前に次のように弟子たちに語られました。

「弟子たちよ、今は私の最期の時である。しかし、この死は肉体の死であることを忘れてはならない。肉体は父母より生まれ、食によって保たれるものであるから、病み、傷つき、壊れることはやむを得ない。

仏の本質は、肉体ではない。さとりである。肉体はここに滅びても、さとりは永遠に法と道とに生きている。だから、私の肉体を見る者が私を見るのではなく、私の教えを知る者こそ私を見る。」

35才でさとりを開き、説法を決意されてから45年間、インド東北部の各地に布教伝道されたお釈迦さまも80才のご高齢となっておられました。そのお釈迦さまが、ラージャグリハ(王舎城)の霊鷲山から生まれ故郷のカピラヴァストゥに向かって旅行を決意されます。もちろん徒歩で。すでにお釈迦さまは教団のことは弟子たちに任せて、自らは隠居のようになっておられ、旅のみちづれは、ほとんどアナンダ(阿難)一人だけだったようです。お釈迦さまは教団(サンガ)に対して、自分が統率しているとは考えておられませんでした。

お釈迦さまはアナンダをはじめとする修行者たちに告げられます。

「わたしが説いた教えとわたしの制した戒律とが、わたしの死後にお前たちの師となるのである」と、そしてさらにこう言われます。

「さあ、修行僧たちよ、お前たちに告げよう『もろもろの事象は過ぎ去るものである。おこたることなく修行を完成しなさい』と。」

これがお釈迦さまの最期の言葉であったと、経典では伝えています。仏教を開かれたお釈迦さまは、一人の人間として、安らかに最期を迎えられたのです。お釈迦さまの死を入滅と言いますが、これがいつであったかについても、やはりさまざまな伝承があります。中国・日本では「二月十五日」を入滅の日とし、〈涅槃会〉の法要を催し、お釈迦様に感謝を捧げるのです。

オーストラリア開教事務所長
渡部 重信



築地本願寺で開教事務所サポーターの皆様に面会！

長年、オーストラリア開教事務所の海外サポーターとしてご支援下さっている、神谷伊勢男&和枝ご夫妻と、御手洗朋子さんに東京の築地本願寺にて再会し、ゆっくりとお話するご縁を頂き、旧交を温めさせて頂いたことでした。



(上)車椅子の神谷伊勢男様と、奥様の和枝様(後方)そして御手洗朋子様(右手前)。(23/01/20)左の写真は築地本願寺前にて



京都府八幡市の浄土真宗本願寺派のお寺『願生寺』を訪問！



(上)ご住職の山本泉茂師と。(下)山本泉茂住職(左から二人目)、奥様の佐己子(さきこ)様(右端)、長男の法樹(かずき)君(お母様の隣)と私の家族。(22/01/20)



(上)昨年12月25日に開教事務所にお参りした山本自然(じねん)君と。(25/12/19)

昨年末、オーストラリアのシドニーに留学中のご子息山本自然(じねん)君とのご縁があって、今回日本への帰省中に上洛した折、京都府八幡市にある本願寺派の布教使でもあるご住職の山本泉茂(せんも)師が新しく創建されたという願生寺(がんしょうじ)を家族で訪問させて頂きました。

お寺が無かった所に、このような素晴らしい本堂を建立されたというお話を伺い、シドニーにも一日も早く、この様に立派な寺院が出来る日を夢見たことでした。

滞在中は、山本泉茂住職始め、佐己子(さきこ)坊守様、長男の法樹(かずき)君らに大変お世話になりました。今後のご法縁を楽しみにしております。合掌



モダンな「願生寺」本堂外観

今月のことば



死もまた
我らにならず
我らなり

生のみが
我らにならず

清沢満之
きよさわまんし



Manshi Kiyosawa
(1863 - 1903)

*"It isn't life alone that
makes up what we are.
Death also is part of us."*



真宗教団連合刊
「2020 令和2年 法語カレンダー」
Dharma Words より

復興支援イベントが今年も開催されます！



今年も3月11日がまたやって参ります。今年で9年目を迎えることとなりますが、まだまだ災害の被害から立ち直れていない地区、人々も多く、この災害を風化させないためにも今年も復興支援イベントが開催されます。今年は、シティにて3月6日の午後5時から9時まで催しが行われ、最初に黙祷が行われます。その黙祷の前の読経を今年も担当させて頂く事となっておりますので、お時間のございます方は是非、会場まで足をお運び下さいませ。合掌

クリーンアップ・オーストラリアに参加しよう！



昨年度の全体集合写真

2020年度のクリーンアップ・オーストラリアが、来る3月1日(日)に催されます。オーストラリアの公園や浜辺を綺麗にしよう、というイアン・キアナン氏の提唱で始まったこのイベントは、今では

参加人数がオーストラリア最大のボランティア活動となっています。公園を散歩がてら、周りのゴミを拾ってみませんか？一年に一度のこのイベントは、誰もが気軽に参加できるものです。今回も、シドニー日本クラブ、シドニー日本人会の皆様と一緒にこのイベントに参加します。希望者は清掃活動後、BBQにも参加できます。



1. 日時：3月1日(日)
午前9時半から11時半 清掃活動
終了後BBQ(参加者は事前にお問い合わせ下さい)
2. 場所：レーンコーブ・ナショナル・パーク
Lane Cove National Park
3. 集合：Lady Game Driveゲートから10分ほど入った場所(地図参照)
4. 持参物：手袋、帽子、日焼け止め、サングラス等
＊通常、公園内は車の入場料が必要ですが、入口で、ク

リーンアップ・オーストラリアに参加する旨をお伝え頂ければ無料になります。

合掌



ご 懇 念 録

Expression of Dana/Gratitude



この一ヶ月間で、下記の方々より総計 1,950.00ドルのご懇志をご進納いただきました。有り難うございました。また、お賽銭として、計10ドルを参拝者より喜捨頂きました。この浄財は本願寺設立基金へ進納されました。合掌

In the past month, donations to the amount of 1,950.00 were offered to the Amida Buddha through the Hongwanji Buddhist Mission of Australia. HBMA have also deposited \$10.00 to the Hongwanji Temple of Sydney Building Fund. The HBMA acknowledges the donors and would like to express our sincere gratitude to the following for their generous donations:

- * Ms Chieko Hartono — Membership contribution
- * Mr Fujio Shizuka — Membership contribution
- * Ms Akiko Minami — Grandmother's Shotsuki contribution
- * Mr/Ms Yoshiaki&Seiko Matsunaga — Membership contribution
- * Ms Tomoko Mitarai — Membership contribution
- * Ms Hitomi Miyamura — Donation
- * Mr/Mrs Iseo&Kazue Kamiya — Membership (3 years) contribution
- * Mr Jonathan Shearman — Donation
- * Ms Kaori Higashi — Oversea supporter membership (One year)
- * Ms Ayako Mitsui-Browne — Donations
- * JCS Printing Honorarium (Jan & Feb /2020) & Rainbow project — Donation for 311
- * Buddhist Council of NSW — Chaplain subsidy

Thank you very much in Gassho





BULLETIN

Please join the 9th Commemoration event of the East Japan Earthquake and Fukushima Disaster and Tsunami of 2011

Where: Sydney Mechanics' School of Arts

When: 4:45 - 9:00 pm 6 Mar 2020



2019 event at Sydney Mechanics' School of Art in Sydney CBD (11/03/19)

11 March is coming up, we once again commemorate all the deceased of the East Japan Earthquake and Fukushima Disaster and Tsunami of 2011 and support people who are still suffering in the effected area. We will be holding this event on 6 March instead of 11 March by circumstances.

This year, we'll have this commemorative event at the same place as last year, in the heart of Sydney CBD, 280 Pitt Street, at Sydney Mechanics' School of Arts.

The event will be starting at 5pm and Rev Watanabe will be leading one minute of silent meditation.

The event will be followed by a couple of film screening, one is "Not alone(ひとりじゃない)" and the



Film "Life - The untold story of Fukushima Evacuation Zone".

other is "Life - The untold story of Fukushima Evacuation Zone". Both movies are very touching, so please join in!

Film "Not alone".

Let us join the biggest volunteer event, Clean Up Australia Day on 1 March



Clean up Australia Day 2019 at Lane Cove National Park



Japanese community members get together and clean up the Lane Cove National Park on 1 March from 9:30 -11:30 on Clean up Australia Day, which will be followed by BBQ picnic as usual! Please join in to this biggest volunteer event in Australia!



Attended Japanese Emperor's birthday reception at the official residence of Consul General on 11 February 2020



(L-R) Rev Watanabe, Ms Kasuko Chalker, Mr Masahiko Kiya, Mrs Yayoi Kiya, and Hisae Costello. (11/02/20)

It was my privilege to participate at the birthday reception of Japanese Emperor at the official residence of Consul General's official residence at Bellvue Hill in Sydney Eastern Suburb.



Coming to deep realisation and understanding of our changing existence and cultivation of a healthy attitude towards this changing world and changing self will enable us to attain the state of Nirvana, that Sakyamuni Buddha did some 2,500 years ago.

The Buddha showed us — with His own life as an example — what a blessing it can be to believe in the Dharma, that is, how to live in this illusory world filled with suffering and sorrow, and how to associate with our fellow people. In commemoration of Sakyamuni Buddha's Pari-Nirvana, let us take the time to look and reflect into ourselves from the standpoint of our limited abilities and strive to make even a small step towards the Buddhist goal of attaining the perfect peace of Nirvana.

In Gassho
Rev Shigenobu Watanabe



(Front row) Yukimi, Rev Senmo Yamamoto, Rev Watanabe, Kazuki & Sakiko Yamamoto. (Back row) Rin, Sho and Yushin (22/01/20)

HBMA NEWS Wonderful to see overseas supporters of HBMA



Rev Watanabe's children with Rev Hitoya Sakow. (19/01/20)



Rev Watanabe with Rev Hitoya Sakow (middle), Rev Rie Oyama (right).

friendship.

Then, in Yawata City (Southern Kyoto), my family were all please to see Rev & Mrs Senmo and Sakiko Yamamoto and their first son, Kazuki.

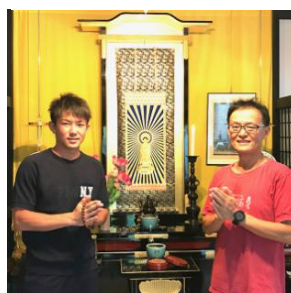
Their second son, Jinen was in Sydney and he made a visit to HBMA at the end of last year, and we got to know

It is always so wonderful to see so many Dharma friends. This time, when I was in Kyoto and Tokyo, I was able to see several Dharma friends.

In Kyoto-City, I met my old Uni friends, Mr Hitoya Sakow (from Fukui) and Ms Rie Oyama (from Hyogo), and renewed our old



Rev Watanabe and Rev Senmo Yamamoto (22/01/20).



Jinen Yamamoto visited HBMA (25/12/19)

and the plan came true! How lucky we are all connected by the teaching of Nembutsu.

In Tokyo, we all met with Mr and Mrs Iseo & Kazue Kamiya (from Tokyo) and Mrs Tomoko Mitarai (from Chiba) at Tsukiji Betsuin, and had



(L-R) Rev Watanabe, Mr Iseo Kamiya, Mrs Kazue Kamiya, and Mrs Tomoko Mitarai (23/01/20)



Rev Watanabe's family and Mr Iseo Kamiya (centre) & Mrs Kazue Kamiya (behind), and Mrs Tomoko Mitarai

tea altogether. Mr Kamiya has been challenging situation since he had stroke since May 2018, but we were so happy to see him once again !

In Gassho,
Rev S Watanabe



In front of Tsukiji Betsuin (23/01/20)

NIRVANA DAY

February 15th, known to Buddhists as **Nirvana Day** or **Nehan-e**(涅槃会) in Japanese, is the day on which Sakyamuni Buddha passed away and entered Pari nirvana, so we commemorate Buddha's passing by observing the Nirvana Day service.

The Sanskrit word "Nirvana" literally means "blowing out of a flame" - the extinction of worldly illusions and passions. "Pari nirvana" refers to complete extinction or to Sakyamuni Buddha's passing away.

The attainment of Nirvana may be accomplished through following the Eightfold Path, the formulation of which is attributed to the Buddha Himself. **The Noble Eightfold Path** is comprised of **Right View, Right Thought, Right Speech, Right Conduct, Right Livelihood, Right Effort, Right Mindfulness**

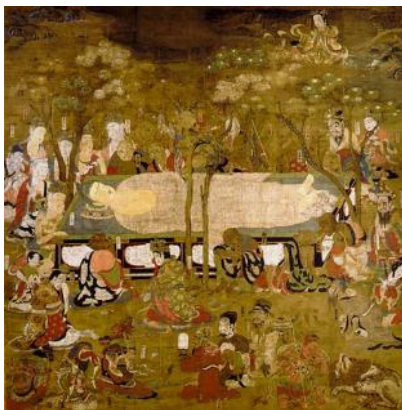
and **Right Meditation**. However, it is very difficult for most of us to apply the practice of the Noble Eightfold Path in our everyday lives, and even if we could it would be impossible for us to attain the state of Nirvana while we are alive.

In our Jodo Shinshu teaching, we are taught that even though we can attain Nirvana, Enlightenment, Buddhahood, or whatever you may wish to call this state, we are unable to free ourselves from ignorance and the clinging and attachment to material things in our everyday lives until we become one with the Buddha, even though Nirvana is assured to us upon our awakening of Shinjin in the Other Power of Amida Buddha.

Sakyamuni Buddha passed away at Kushinagar, lying between the twin sala(pippala) trees with His head towards the north and His body facing the west. He continued preaching to his disciples until his final moment. To those who had gathered around Him, His words were a source of consolation and encouragement: He said,



The eight spoke Dharma wheel symbolizes the Noble Eightfold Path



When Shakyamuni Buddha passed away, all disciples and animals in the forest gathered together and lamented.



BULLETIN

"Do not grieve. If I were to live in the world a whole kalpa, our association would still have to end. You cannot find any association which does not end... Therefore, you just know the world is all transient, and meeting certainly implies separation."

One of the basic principles of Buddhism is the **law of change: nothing is permanent**. This forms the basis for the first of Four Noble Truths - **the Truth of Suffering**.

Why does suffering exist? Why do human beings suffer? It is primarily due to the fact that we have a definite attitude towards change. We do not want certain things to change. If we enjoy good health, we wish this condition to continue forever. When we earn fame, we wish to be able to enjoy this position until death. As long as things are going well, we want to maintain the status quo and endeavour to keep things that we feel will benefit us. However, if conditions are not to our liking, we wish to change them, especially if we feel it will be beneficial to us.

Change, itself, is not the cause of suffering. It is the attitude that we carry within our minds which can bring on suffering and sorrow. Therefore, the basic cause of suffering lies within us. The cleaving



The Parinirvana of the Buddha. Gandhara 2-3rd Century

of attachment to things, along with the illusion of self, gives rise to all the evil desires and passions that cause mankind so much misery, discontent and unhappiness.

NIRVANA=涅槃 (Perfect Tranquillity)

Literally, Nirvana means, **"to blow out."** This is the state where all human defilements and passions have been completely extinguished through certain practices and meditation based upon Right Wisdom. Those who had attained this state are called Buddhas. Gautama Siddhartha had attained this state and became a Buddha at 35. However, it is thought that it was only after he had passed away that he reached such a state of perfect tranquillity, because some residue of human defilement would have continued to be present as long as his physical body existed.

BULLETIN

Volume 21 - No. 2
February 24, 2020

Hongwanji Buddhist Mission of Australia

PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403 1256
Mob : (0412) 396 014
Email : hbma@optusnet.com.au
<http://www.hongwanji.com.au>



**Rev Watanabe made a courtesy call on
Bishop/Somu Rigaku Mitsuoka &
Rev/Bucho Masumi Ishida of
Hongwanji International Center,
and Rev Kido Onoi, the Head of
the Policy Planning Office**

20 January 2020



Rev Watanabe made a courtesy call on Bishop Mitsuoka (Left) and Bucho Ishida (right) of HIC. (20/01/20)



On Monday, 20 January, it was my privilege to visit our mother temple, Nishi-Hongwanji in Kyoto.

My family and I arrived Kyoto the day before and we all attended the morning service in Amida-do and Goei-do. Then, I visited Hongwanji International Centre (HIC) and greeted the Bucho, Rev Masumi



Rev Watanabe also made a courtesy call on Rev Kido Onoi (right). (20/01/20)



Hongwanji International Center

Ishida, and all the staff of HIC. Then I attended a meeting with Bishop Rigaku Mitsuoka, Somu of Hongwanji, with Rev Ishida at Hongwanji Shumu (Religious matter) Centre. Then I also made a courtesy call on Rev Kido Onoi, the head of the Policy Planning Office.

Through these meetings, I was able to share what is going on with HBMA and how the movement of

Inside This Issue

Rev Watanabe visited Kyoto Hongwanji	1-2
Dharma message for Nirvana day	2-3
Encountering oversea HBMA supporters	3
9th Year commemoration service/Clean up Australia	4

Buddhist faith is going, and what we are expecting in the future, and so on.

They showed their understanding about

our activities and Kyoto Hongwanji Amida-Hall (Front) and Goei-do(Shinran Shonin's Hall; back)

also were concerning about the Australian Bush Fires that were still going on and burnt out more than the equivalent of half the land-mass of Japan land, with at least precious 34 human lives and hundreds of thousands of animal lives lost. They expressed their deep sympathy for those victims and living beings, along with all the relatives and staff of fire fighters.

All the bushfires across Australia converged at long last, and now both countries are threatened by the Coronavirus COVID-19. We should take good care of ourselves.

In conclusion, I would like to show my deep appreciation to all the staff of our mother temple where they keep giving utmost support to our mission, and I look forward to attending the service in Hongwanji once again next time I come to Japan.



In Gassho,
Rev Shigenobu Watanabe



Kyoto Hongwanji Amida-Hall (Front) and Goei-do(Shinran Shonin's Hall; back)



In front of Goei-do (Shinran's Hall). (20/01/2020)



This sign announces that we will be having commemorative service for Shinran Shonin's 850th birthday and 800th anniversary since Jodo Shinshu was established.